

単語のいろいろ

ハル 『言葉がつなぐ世界遺産』には、難しい言葉がたくさん出てくるね。国語辞典で調べるのが大変だよ。ところで、辞典の見出し語の下に

《名》とか《形》とか書いてあるのは何を表しているんだろう。

アキ 「社寺」や「景観」、「陰影」には、《名》と書か

れているね。《名》は名詞のことじゃないかな。そうすると《》は、その言葉のグループを表しているんじゃない？

ハル 「厳しい」は《形》だから、これは形容詞かな。

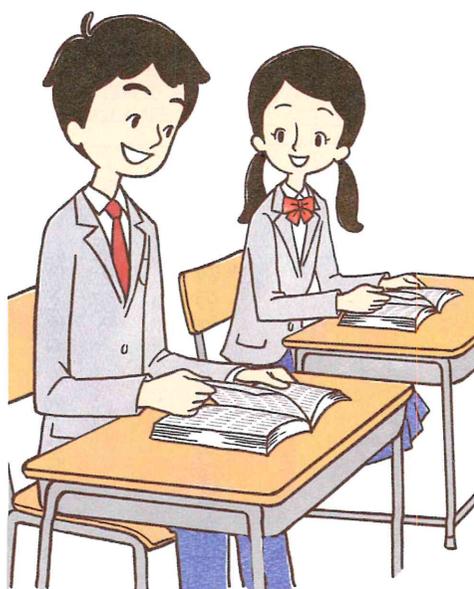
アキ 他にも調べてみると、《形動》と書かれている語句も多いよ。「豪華」や「鮮やか」、「微妙」「繊細」にも書かれているね。《形動》ってどんなグループだろう。

ハル 「いわゆる」は《連体》、「まさに」や「きわめて」は《副》、「そこで」は《接》って書いてあるよ。いろいろなグループがあるみたいだね。

15

10

5



ハルとアキが言っている言葉のグループのことを「品詞」と呼び、国語辞典の見出し語には、それが示されているんだよ。さまざまな品詞について、理解を深めていこう。品詞の示し方は、辞典によって違うので、凡例を見て確かめようね。

↓ P 286 へ

